

教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	社 会
-----	-----

発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>第1の観点</b></p> <p>①「つかむ」「調べる」「まとめる」の視点で、学習過程が1単位時間ごと示されている。</p> <p>②教科書の巻頭において、地図帳の活用の仕方が示されている。</p> <p><b>第2の観点</b></p> <p>①単元の導入において、単元の内容を身に付けさせるための学習の仕方が示されている。</p> <p>②1単位時間ごとに「まなびのポイント」が示され、考える視点が明確になっている。</p> <p><b>第3の観点</b></p> <p>①選択教材の数が絞られており、視点を明確にした学習を進めることができるようになっている。</p> <p>②風水害から身を守る点から、「マイタイムライン」を作成する単元末の活動が設定されている。</p> <p><b>第4の観点</b></p> <p>①QRコンテンツでは、見通しをもって学習が進められるようになり、実感を伴った理解を促すようになっている。</p> <p>②「まなびのポイント」コーナーでは、そのページで何を話し合うべきか、どんなことをノートにまとめるべきかが示されている。</p> <p>③ユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインされている。人物の写真や肖像画がやや小さく、グラフや図等の資料が大きく記載されている。</p> <p><b>第5の観点</b></p> <p>①学習内容を観点ごとに新聞等にまとめさせる活動が設定されている。</p> <p>②「つかむ→調べる→まとめる→いかす」といった探究的な学習の進め方が示されている。キャラクターのセリフを目印として、社会科の見方・考え方（位置や広がり、時間、関わり、比較・分類・総合・関連付け）が紹介されている。</p>
教 出	<p><b>第1の観点</b></p> <p>①1単位時間ごとに、「つかむ」「調べる」「まとめる」の学習過程のうち、本時はどの過程であるかが示されている。</p>

	<p>②教科書巻末で見開きを使い、児童の言葉や、ナンバーリングによって地図帳の活用方法について示されている。</p> <p><b>第2の観点</b></p> <p>①単元の導入において、児童が学習の流れを理解できるようにするために、活動の流れが示されている。</p> <p>②1単位時間ごとに「活動」の流れや「学びの手引き」が示され、児童に学習の見通しをもたせることができるようになっている。</p> <p><b>第3の観点</b></p> <p>①選択教材を多く設け、児童及び地域の実態に応じた学習を行うことができるようになっている。</p> <p>②地震や津波の災害から、災害に備える際に自分たちに何ができるか、大切だと思った言葉を使って標語を書かせる活動のページが用意されている。</p> <p><b>第4の観点</b></p> <p>①QRコンテンツでは、学習内容をまとめることができ、実感を伴った理解を促すようになっている。</p> <p>②「次につなげよう」コーナーでは、既習事項を次の課題につなげて考えさせる問いの文が用いられている。</p> <p>③ユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、多くの児童に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮されている。人物の写真や肖像画が大きく、グラフや図等の資料はやや小さめに記載されている。</p> <p><b>第5の観点</b></p> <p>①学習内容を観点ごとに図等を使って整理できるようになっている。</p> <p>②「つかむ→調べる→まとめる→つなげる」を繰り返して進めていくことが示されている。また、学習の進め方を振り返るコーナーが設けられ、「学習問題の作り方」「学習計画の立て方」「調べ方」など、学び方自体についても振り返ることができるようになっている。</p>
日 文	<p><b>第1の観点</b></p> <p>①1単位時間ごとに、本時の問いが記載されている。</p> <p>②教科書巻末において、児童の発言を通しながら、2つの項目に分けて地図帳の見方が説明されている。</p> <p><b>第2の観点</b></p> <p>①単元の導入において、単元の学び方に興味・関心をもつことができるように、学習を深める具体的な学び方・調べ方について書かれている。</p>

②単元内に「見方・考え方」が示されており、単元内で身に付けさせた力が明確にされている。

### 第3の観点

①選択教材を設け、児童の興味・関心に即した学習を行うことができるようになっている。

②災害に備え、自分にできることをスライドにまとめたり、ハザードマップを作成したりする活動のページが用意されている。

### 第4の観点

①QRコンテンツでは、社会的な見方・考え方を働かせながら、見通しをもって学習が進められようになっており、実感を伴った理解を促すようになっている。

②「見方・考え方」のコーナーでは「時間・空間・関係」に視点を当て、何に着目して調べるとよいかが示されている。

③ユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、多くの児童に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮されている。資料の説明文の文字が大きく記載されている。

### 第5の観点

①学習内容を観点ごとに表に整理できるようになっている。

②タブレットを使って発表する活動をきっかけに、学習を振り返って話し合う場面が取り上げられている。そこから新たな課題を設定し、単元を展開できるようになっている。